

## 1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和5年11月28日

## 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4671500082
法人名	有限会社 さくら商事
事業所名	グループホーム 吉田さくらの里
所在地	鹿児島県鹿児島市東佐多町2060番地 (電話) 099-295-2422
自己評価作成日	令和5年9月30日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/">http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/</a>
-------------	---

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センター福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	令和5年11月13日

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

・両棟を囲んだ広い中庭があり、天気の良い日は両棟の交流を図りながらお茶、食事、外気浴、散歩、レクリエーションなどを楽しんで和気あいあいと穏やかな時間を過ごしております。庭の隅に畑を作り、草むしりや水まきなど手入れをしながら野菜作り、収穫、調理、食事までと共同生活を楽しんでいただけるよう支援しております。

・青空面会など感染予防対策を行いながら面会をして頂いております。

・感染予防対策を十分にとりながら楽しめるレクリエーションを工夫し行っております。また講師による音楽療法の開催、地域の行事、清掃活動も行っております。

・ホームの理念として「この家で、共にくつろぎ、共にやすらぎ、地域とふれあいのある暮らし」を目指し、地域の方々の協力を頂き地域の中で安心してその人らしく暮らすことができるよう支援しております。また、ご利用者やご家族が望む「人生の最期」を可能な限り慣れ親しんだ環境で安心して過ごせるようご家族や主治医・看護職・介護職で連携をとりながらサポートさせて頂いております。

## 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

・当事業所は共用型の認知症デイサービスに取り組んでおり、広い敷地にある果樹や畑では利用者も個々の力を活かして一緒に野菜作りや収穫、保存食づくりに取り組み、毎月企画される行事を楽しんでいる。

・運営推進会議には地域協力員や公民館長・民生委員・地域包括支援センター職員が毎回参加して活発な意見交換を行い、地域との交流で貴重な情報交換の機会となっている。

・防災意識が高く、台風等では別地域の「古民家」への事前避難で、利用者の安全を図るとともに避難所生活における心身の負担を軽減する取組を行っている。

・管理者は個々の職員の事情に配慮し、職員がやりがいを持てる働きやすい職場環境づくりに取り組み、職員の資格取得や研修受講を支援し質の向上を図っている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	毎回の会議で理念を復唱しスタッフ間で共有、意識づけを行い実践に繋げて行けるように努めている。	理念は玄関に掲示し、パンフレットにも掲載している。会議時に唱和し地域密着型サービスの理念を確認し、実践に繋げている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人員として日常的に交流している	コロナ禍から5類になり地域との交流が増えてきている。感染対策を行いながら地域行事に参加している。	地域の清掃活動への参加協力を継続しているが、小学生の実習やサマーボランティア受け入れは見合わせている。近隣住民からの野菜の差し入れがあり、手作りの餅やちまきをお返しにお届けして交流している。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	電話相談は常時応じている。介護相談所の旗を掲げ、いつでも相談者が気軽に来所できるように努めている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	二か月に一回感染対策を行いながら実施している。ホームや地域との情報交換を行いサービスの向上に努めている。	2ヶ月に1回の運営推進会議を5月から対面で実施し、約10名の参加を得て活発に意見交換を行っている。事業所の状況及び地域の情報交換を行って、意見をサービスの向上に活かせるよう努めている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	<p>生活保護の方や、地域からの相談事など地域支援室に連絡を入れるなど連携を図っている。</p>	<p>本庁及び支所に出向いて報告や相談を行い連携を図っており、生活保護担当者とも同様に来訪時の意見交換等を行っている。介護相談員を受け入れ予定であり、市の研修も受講している。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>定期的に勉強会を行いスタッフ全員が身体拘束しないケアを理解し、常に心掛けて身体拘束しないケアを行っている。</p>	<p>指針を作成しており、委員会及び研修会を3ヶ月に1回実施している。胃ろうの抜去防止も検討を重ね、職員の見守りで拘束をしないケアに取り組んでいる。日中は玄関の施錠はせず、外に出ていく利用者には散歩に同行する等で対応し行動を制限しないケアに取り組んでいる。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>日頃の勉強会や外部研修（ZOOM含む）で知りえた情報を共有し、個々の意識を高め、虐待防止に努めている。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>勉強会や研修会への参加を行い、知識の向上、理解に繋げている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>重度化や看取りについての対応、医療連携体制などについては時間をとり十分な説明を行い、理解、同意を得ている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>コロナ禍のため家族会が行えない状況下であったが面会時や電話での対応、報告など外部の意見を伺い支援に反映している。</p>	<p>利用者には日常会話の中で要望を聞き、買い物や墓参りに出かけたり、誕生日等に好物を聞き提供している。家族には面会時や家族会及びアンケートで意見を聞き、その都度対応に努めている。</p>	
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>職員から意見を聞く機会を作り、出た意見を協議し、反映させ事業所のサービスの質の向上に努めている。</p>	<p>毎月の職員会議で意見を聞く機会を設けている。ケアに関する提案は日常的にあり、試行後に会議で検討し意見を反映させている。個別相談は管理者が受けており、管理者の方から声掛けをすることもある。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>職員の状態や状況に応じて柔軟な対応を行い、職員それぞれが向上心をもち働けるよう努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>事業所内部、外部研修（ZOOM含む）に積極的に参加している。また、その研修報告を毎月の全体会議で発表し、情報共有することで職員それぞれが育つよう取り組んでいる。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>他事業所の推進会議や行事などに参加し情報収集を行い、事業所で検討し取り入れ、サービスの質の向上に努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>入所前にご本人やご家族から要望や状態を伺いスタッフ間で情報共有を行い、入所の際も迅速に対応が出来るように努めている。</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>入所前にご家族や施設側と話し合いを行い、困っていることや要望など職員間で共有し入所時の迅速な対応に用いている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>事前に情報収集を行いご利用者、ご家族、施設ケアマネから情報を頂き早期対応に努めている。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>介護する側、される側ではなく、毎日をご利用者とスタッフが家族のように一緒に過ごし、良好な関係作りに努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	月一回の新聞、お便り、日頃の状態や状況をこまめに連絡をする等、ご家族と相談しながら一緒にご本人を支えられるよう支援している。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	感染対策を行いながら、面会は継続しており、ゆっくりと話ができる環境を整えている。	家族・知人との面会や電話での交流を支援し、これまでの関係が途切れないように努めている。利用者の希望で墓参りや馴染みの場所・イベント見物にも出かけている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	お互いの関係性の把握をしっかりと行い、必要時には席替えを行い心地よい環境作りに努めている。また、日々のレクリエーションを通し互いの関係性の構築に努めている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービスが終了してもご連絡をさせて頂いたり、ご相談やご入所者の紹介を頂くなど相互の関係が途切れないよう努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	入所前後にご希望は何っているが、日々のケアにおいて会話を する機会も多く、新たな希望や 意向の実現に向け取り組んでい る。	日常会話の中で本人の思いを把 握するように努めており、入浴 時や戸外での行事の際によく話 しをされる。困難な場合は、家 族からの情報や表情・仕草で思 いをくみ取るように努め支援に 活かしている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし 方、生活環境、これまでのサービス利用 の経過等の把握に努めている	ご本人、ご家族、施設などを通 じ生活歴など情報頂き、職員と 共有し、その人らしい生活が送 れるよう支援に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状 態、有する力等の現状の把握に努めてい る	申し送りノートや毎日のカン ファレンスでスタッフ全員が情 報共有出来るよう努めており、 把握したうえで個々に応じた支 援が出来るように努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリ ング 本人がより良く暮らすための課題とケ アのあり方について、本人、家族、必要 な関係者と話し合い、それぞれの意見や アイデアを反映し、現状に即した介護 計画を作成している	毎日カンファレンスを実施して おり、集まった情報や意見は職 員会議で検討するなどチームと して介護計画の作成を行ってい る。	家族を交えて担当者会議を実施 し、カンファレンスでの職員の 意見を入れて介護計画を作成し ている。モニタリングは3ヶ月毎 にまとめている。6ヶ月毎及び状 況変化時に介護計画を見直して いる。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>日々に生活の中で変化があった際は、記録に記載しスタッフ間で情報共有を行っている。必要時はカンファレンスを実施し支援の変更などを行っている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>その時々のご本人のニーズに対応し、柔軟な支援やサービスを行っている。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>行事以外でもご本人の希望や日々の会話の中で汲み取りながら計画を立て支援をしている。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>かかりつけ医はご利用者やご家族の希望に応じている。主治医や連携室とその都度、連絡を取り合い、適切な医療を受けられるよう支援している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>日々気づいた内容は常時看護師に相談、対応が出来る体制となっている。必要時は主治医と連携し早急な対応を行っている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院時は病院との情報交換を行い、状態が安定している時はご家族、連携室と話し合い早期の退院支援に繋げている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>サービス提供前から事前意思確認書などを用いてご本人やご家族から要望を聴き、出来る限り要望に添えるよう努めている。</p>	<p>契約時に重度化等の場合の対応について指針で説明し、同意書をもっている。段階的に家族の意向を確認し、意向に沿って医師及び職員が支援に取り組んでいる。看取り介護にも対応し看取り介護の事例がある。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>急変や事故に備えて心肺蘇生法をスタッフ全員が定期的に受講し理解しており、急変時や事故発生時に対応できる実践力を身につけている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>年二回の総合防災訓練と年4回の自主訓練を実施しており、台風や大雨など自然災害対策での訓練も行っている。</p>	<p>年2回の避難訓練を消防署の立ち合いのもと、昼夜想定で実施している。自主訓練も年4回行い、台風時は家族や地域の協力を得て避難している。備蓄は、5日分の水・食料を確保している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	ご本人のペースに合わせて声かけを行い、ご本人の気持ちを尊重しながら対応を行っている。	年2回研修を実施し、さん付けでの呼びかけや入室時のノック、排泄介助時のさり気ない声掛け、入浴の同性介助等、羞恥心にも配慮し誇りやプライバシーを損ねないよう支援している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	生活歴や趣味、移行の把握に努めており、日々の支援において自己決定がし易い、分かり易い声かけを行っている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ご利用者の体調を考慮しながら、ご本人に合ったペースで過ごして頂いている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	訪問散髪や行事、外出時など、ご本人の好み希望に添った衣類、季節に合わせて声掛けしている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	献立作りでは個々の嗜好品を取り入れたり、調理や下ごしらえ、台拭き等ご利用者が参加出来る体制をとっている。	利用者の希望を取入れて献立を作成し、畑で栽培した野菜も使って利用者と一緒に調理している。季節の行事食を食べたり、誕生日のケーキや好物、保存食づくり、庭での食事や外食等で、食事を楽しんでいる。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援  食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	水分、食事チェック表を付けており、個々の状態により水分を勧めたり食事量を調整、声掛けを行っている。		
42		○口腔内の清潔保持  口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後の口腔ケアと就寝時には洗剤を用い衛生管理に努めている。訪問歯科を取り入れ、定期的な状態観察に努めている。		
43	16	○排泄の自立支援  排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄チェック表で個々の排泄パターンを把握し、トイレ誘導を行っている。声掛けのパターンを変えている。トイレでの排泄を勧めている。	個々の排泄パターンに応じた声掛け誘導で、日中はトイレでの排泄を基本に支援しており、布パンツ維持やオムツからリハビリパンツへの改善例もある。夜間はオムツやポータブルトイレを使用する利用者もある。	
44		○便秘の予防と対応  便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	乳製品、食物繊維の多い食品を取り入れたり、日常に適度な運動を取り入れ自然排便を促し、なるべく内服に頼らない支援を心がけている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援  一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	週3回の入浴以外にも希望に応じて対応している。拒否のある方も無理強いせずタイミングをずらしお声かけを行っている。	週3回午前中を基本に入浴支援を行っているが、希望等で柔軟に対応している。2人介助や同性介助を必要に応じて実施し、入浴剤・ゆず湯も楽しんでいる。嫌がる場合は無理強いせずタイミングを見て声掛けして入浴を支援している。	
46		○安眠や休息の支援  一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	個々の生活習慣に応じて対応している。外気浴勧めたり、居室の照明など配慮し良眠に繋がる対応を心がけている。		
47		○服薬支援  一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	内服チェック表があり、変更や効能、副作用を職員間で共有ダブルチェックを行っている。		
48		○役割、楽しみごとの支援  張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	外出や毎月の行事の実施、誕生会など日々工夫している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	希望時には外出や外泊支援を行っている。感染対策を行いながら水族館やピクニック、お花見会、ドライブなど外出支援を行っている。	その日の希望や天候を考慮してでかけることが多く、敷地内の散歩は1日に数回実施している。計画を立てて花見や買い物・外食・ドライブ等に行き、できるだけ外出できるように支援している。家族と外出・外泊に出かける利用者もいる。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ご本人が所持している方や所持していないか方にはご希望に応じてご家族にその都度相談しながら使えるように支援している。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	携帯電話を所持している方から操作方法の相談受けたり、電話希望の方への対応はいつでもできるようにしている。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご利用者が心地よく過ごせるようホールなど共用の空間に季節感を取り入れた展示物、ご利用者作品、飾りつけを行っている。	季節の飾りつけがされたホールは広い廊下と共にゆったりしており、対面キッチンから利用者の動きが把握できる。エアコンや濡れバスタオルで温・湿度を適度に保ち、窓を開けて換気をしている。利用者は、ソファなどの好みの場所でくつろいでいる。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり  共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ホールにソファが設置してあり、休息またはお話をされたり、お部屋でゆっくり過ごされたりと個々の状態に合わせ対応している。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮  居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご自宅で使われていたタンスや鏡台、仏壇などご本人の居心地良い環境作りに努めている。	居室にはベッドやタンス・エアコン・寝具が備えてある。本人は、テレビや仏壇・鏡台・寝具等の使い慣れたものや写真・遺影・ぬいぐるみ等を置いて安心して過ごせるようにしている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり  建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	名札の設置や、床に矢印を付けたりと個々が混乱せず安心して生活が続けられるように工夫している。		

## V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ全ての家族と
		○	2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き生きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない